



2025-03-31 V6β版

ペレスター

PelleStar100 HPS-100-S-A

PelleStar200 HPS-200-S-A

PelleStar40 HPS-40-S-A

取扱説明書

この度は、ペレスターをお買い上げいただき
誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよく
お読みいただき、正しく使用してください。

この取扱説明書は大切に保管してください。

1. 目次

1. 目次	2
2. ペレスターをお使いになる前に	
2-1. ペレスターについて	3
2-2. 設置要件について	3
2-3. 取扱説明をお受けください	3
2-4. メンテナンスについて	3
2-5. ペレット燃料について	3
3. 安全上の注意	4~5
4. 各部の名称	6~8
5. 仕様書	9~10
6. コントロールパネル	
6-1. 着火 / 消火	11~12
6-2. 火力設定、室内ファン、室温設定	12
6-3. モード：タイマー設定	13
6-4. モード：ECO モード設定	13
6-5. モード：日時設定	13
6-6. モード：情報 [排気温度]	13
6-7. モード：情報 [機種名・プログラムバージョン]	14
6-8. 清掃モード・燃料充填モード	14
7. 運転の仕方	
7-1. ペレットの投入	14
7-2. ペレットの充填	14
7-3. 着火前の確認	15
7-4. ダンパーの確認	15
7-5. 着火	15
7-6. 消火	16
7-7. オートクリーニング機能	16
7-8. ECO モード運転	16
8. 警告表示・エラー表示・故障表示	17~18
9. メンテナンスモード	18
10. お手入れ	
10-1. お手入れ用具	19
10-2. 使用後のお手入れ（着火ごと）	19
10-3. 定期的なお手入れ（週一回程度）	20
10-4. オフシーズンのお手入れ	21~22
11. 故障かな？と思ったら	24
12. アフターサービス	25
13. 保証書（無償修理規定）	26

2. ペレスターをお使いになる前に

2-1. ペレスターについて

ペレスターは、木質ペレット（以下ペレット）を燃料とする暖房器具です。

ペレットの燃焼に必要な空気は室内又は屋外から給気します。燃焼後の排気ガスは排気筒を通じて屋外に排気します。（給気は基本的に屋外から取り入れる事を推奨します）

ペレスターの外装は鋳物製です。鋳物から出る遠赤外線の輻射熱と、室内の空気を温めた温風によりお部屋を暖めます。

燃焼室ドアガラスからペレットが燃える炎を楽しむことができます。

着火やペレットの供給は自動で行い、火力や温風の調整も可能です。

プログラムタイマーを設定する事で、便利に暖房運転を行う事ができます。

2-2. 設置要件について

ペレスターの設置は、弊社設置基準を必ず守ってください。

2-3. 取扱説明をお受けください

ペレスターの使用前に必ずペレスター販売店より取扱説明を受けてください。

説明を受けると共に、本説明書をよく読み正しく使用してください。

2-4. メンテナンスについて

ペレスターはペレットを燃焼させる為、本体内部や排気管内部に灰が残ります。

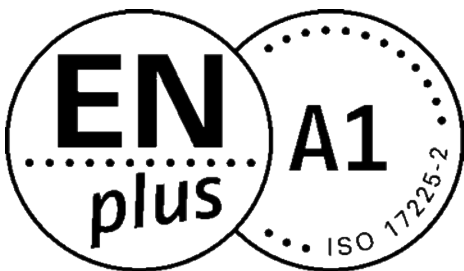
目安として1シーズンに一度、ご購入のペレスター販売店にメンテナンスを依頼してください。

2-5. ペレット燃料について

ペレスターが推奨する燃料は、ISO ENplus の A1 クラスです。

ENplus A1 クラス以外のペレットを使用すると、暖かさや灰の量が想定とは異なる場合があります。

ペレスターの設定変更が必要になったり、使用できない場合もありますので、ENplus A1i 以外のペレットをご使用になる場合はペレスター販売店によく確認して頂き、必ずペレスター販売店が推奨するペレットをご使用ください。



ペレットの品質規格 ISO ENplus

ペレットには原料や形状及び品質を定めた規格があります。
また、規格通りにペレットが製造されている事を第三者が
確認する第三者認証制度があります。

【ご注意】

ペレスターはペレット専用です。

薪やチップ、ガソリンや灯油等ペレット以外の燃料を使用する事はできません。

ペレット燃料の品質に起因する故障や不具合は保証対象外です。

3. 安全上の注意

ペレスターは、安全性に十分考慮し設計・製造されておりますが、より安全で快適にご使用頂く為に以下の事項についてご注意ください。

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付く事をまとめて記載しております。

お客様の安全に関する重要な事項ですので必ずお守りください。

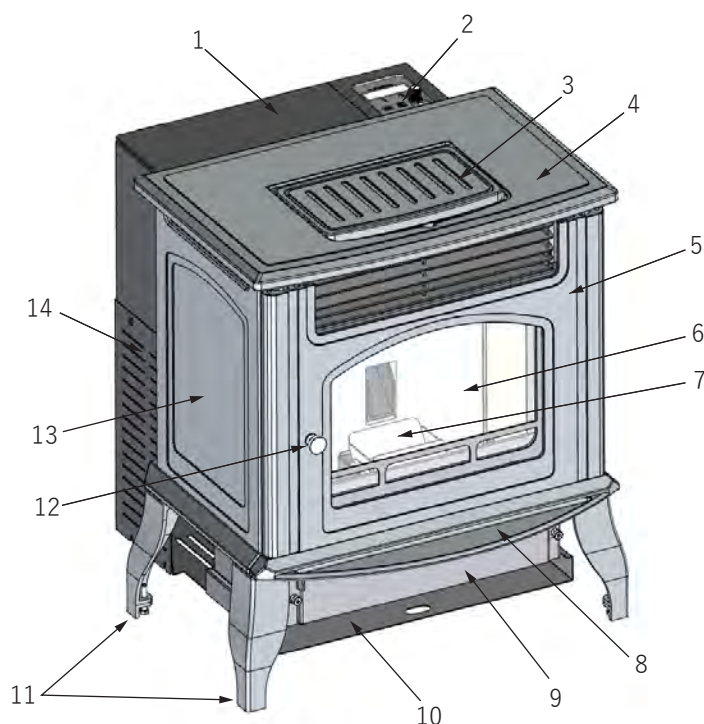
	危険！（リスクレベルⅢ） 深刻な人身傷害または死亡につながります。
	警告！（リスクレベルⅡ） 人身傷害または環境損傷をひきおこします。
	注意！（リスクレベルⅠ） 中程度の人身傷害または製品、物的損傷をひきおこします。

使用燃料は木質ペレット以外厳禁  ペレットタンクには木質ペレット以外の燃料は絶対に入れないでください。 故障、燃焼不良、火災の原因となります。	給排気筒の外れの点検  給排気管が確実に接続されているか必ず点検してください。 運転中に排気ガスが室内に漏れて危険です。
排気筒 / 排気筒トップの閉塞の点検  排気筒やトップが塞がれていない事を運転前に確認してください。 特に積雪の多い地域では注意が必要です。 排ガスが逆流して不完全燃焼の原因となります。	灰受ボックスの点検  灰受けボックスが確実に閉まっているか必ず確認してください。 確実に閉まっていない状態で運転すると、運転中に排気ガスが室内に漏れ危険です。
燃焼室の解放厳禁  燃焼室ドアが確実に閉まっている事を確認してください。 燃焼室ドアに隙間があると排気ガスや炎が室内に逆流し、人身への危険や火災の原因となります。	スプレー缶、可燃ガスの取扱注意  スプレー缶その他可燃ガスが発生するものをストーブに近づけたり使用しないでください。 爆発、火災の原因となります。
対流空気の給排スリットを塞がない  対流空気の給排スリットを塞ぐと熱籠りの原因となり、異常燃焼や不具合の発生、火災の原因となります。	衣類の乾燥厳禁  衣類などの乾燥を目的として使用しないでください。 火災の原因となります。
ライター・マッチ等での着火厳禁  火傷、怪我、火災の原因となります。	着火剤の使用禁止  火傷、怪我、火災の原因となります。
運転中の電源 OFF 禁止  運転中に電源を OFF にすると排気ファンが停止し、燃焼室から煙が漏れる事があります。停電等意図しない場合も含め、室内に煙が漏れ出た場合は速やかに窓等を開け換気してください。	水かけ厳禁  本体や内部に水を掛けないでください。 ショート、故障、感電、錆の原因になります。

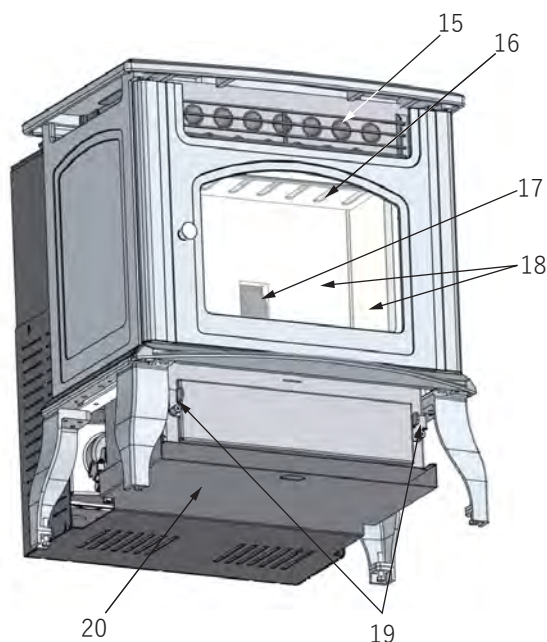
可燃物（カーテン等）の近接禁止  カーテンや燃えやすい物をストーブ周辺のそばに置いたり保管しないでください。 火災の原因になります。	指や異物（紙類等）を入れない  ペレットタンク内には絶対に紙類等異物を入れないでください。また大変危険なので手や指を奥まで入れないでください。
ペレット燃料供給時は消火  ペレット燃料の供給は、必ず消火し本体が冷えている時に行ってください。 火災や火傷の原因になります。	高温部接触注意  自然対流の吹き出しスリットや排気筒などは高温になりますので触れないでください。 衣服の損傷や火傷の原因になります。
高温部に注意  燃焼中、消火直後は燃焼室ドア周辺や天板がなどの高温部に手や顔を近づけないでください。 火傷の原因になります。	ペレット燃料保管時の注意  風雨の当たらない室内で保管してください。 湿ったペレット燃料を使用すると、不完全燃焼や故障の原因となります。
燃焼ポットのたまり着火の禁止  燃焼ポット内にペレット燃料をためた状態で着火しないでください。 不完全燃焼や故障の原因になります。	電源プラグのお手入れ  時々、電源プラグを抜き埃の除去や異物の付着の確認をしてください。湿気による絶縁不良を引き起こし火災の原因になります。
長期間使用しない時の注意  長期間使用しない場合、燃料タンクからペレット燃料を抜き電源プラグをコンセントから抜いてください。本体内部の錆の原因になります。	電源プラグコードの保守点検  電源プラグは根元まで確実にコンセントに差込んでください。また束ねたり物を乗せて傷つけたりしないでください。 感電や火災や火傷の原因になります。
分解修理、改造の禁止  万が一故障や破損が生じた場合、使用を中止し認定プロショップに修理を委託してください。 また、事故の原因となりますので絶対に改造は行わないでください。 火災や排気ガスが室内に漏れる原因となり危険です。	お子様や高齢者の使用に注意  お子様や高齢者、体が不自由な方がお使いになる場合は周囲の人が十分に注意してください。 火傷や換気不良に注意が必要です。
ストーブに腰掛けたり、物を置かない  ストーブに乗ったり腰掛けたりしないでください。 また、物を置く事もおやめください。 火災の原因になります。	お手入れの際の注意  ストーブ本体や排気筒が十分に冷えてから行ってください。 怪我や火傷の原因になります。
排気筒付近の可燃物近接禁止  排気筒に近接した場所に、灯油やその他引火の恐れがある可燃物を置かないでください。 火災の原因になります。	ストーブの外装のお手入れ  クレンザー等研磨剤の入ったクリーナーは使用しないでください。 塗装の剥がれや錆の原因になります。

4. 各部の名称

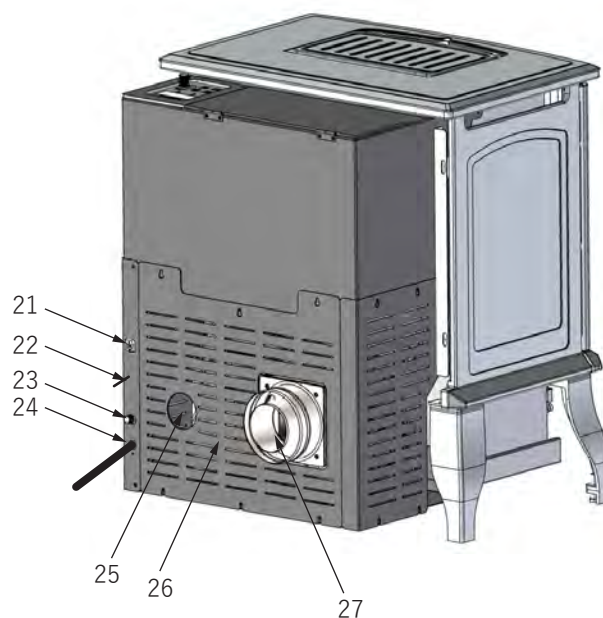
PelleStar100



- 1. 燃料タンク+蓋
- 2. コントロールパネル
- 3. ホットプレート
- 4. 天板（鋳物）
- 5. フロントドア（鋳物）
- 6. 燃焼室
- 7. 燃焼ポット
（背部に着火ヒーター）
- 8. フロントリップ
- 9. 灰受皿
- 10. 遮熱板
- 11. 脚（鋳物×4か所）
- 12. フロントドアハンドル
- 13. サイドパネル（鋳物・左右）
- 14. 燃料タンクサイドパネル
（メンテナンス用・左右）

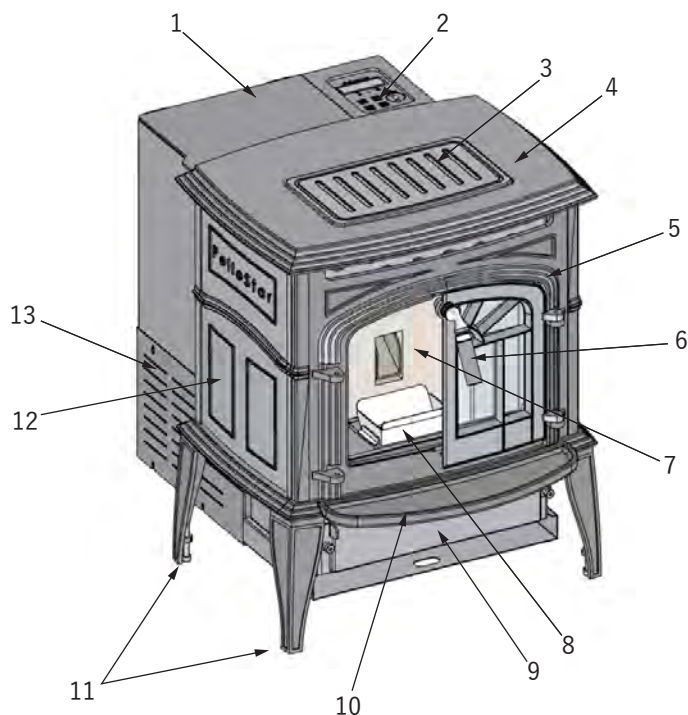


- 15. 温風送風口
- 16. バッフルプレート
- 17. ペレットシューター
- 18. 耐火レンガ
（パーミキュライト）
- 19. 灰受皿ロック
- 20. 遮熱版

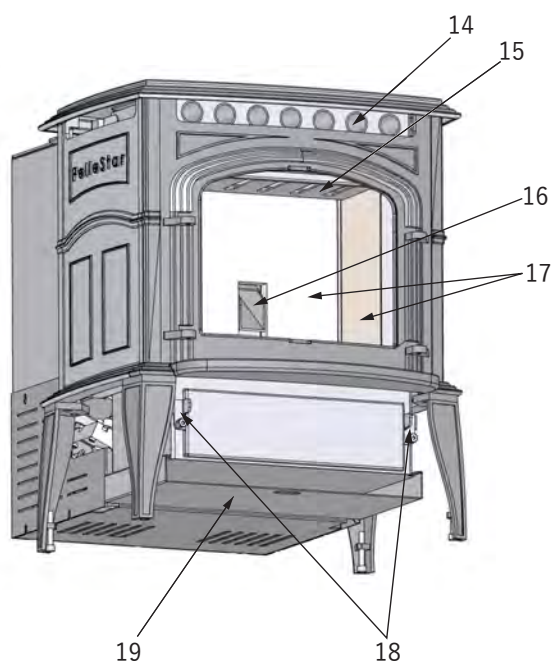


- 21. 主電源スイッチ
- 22. 室温センサー
- 23. ヒューズ（8A）
- 24. 電源ケーブル（AC100V）
アース線付
- 25. 給気ホース取出し口
（給気別配管の場合）
- 26. 背部点検パネル
- 27. 排気出口・排気温度センサー

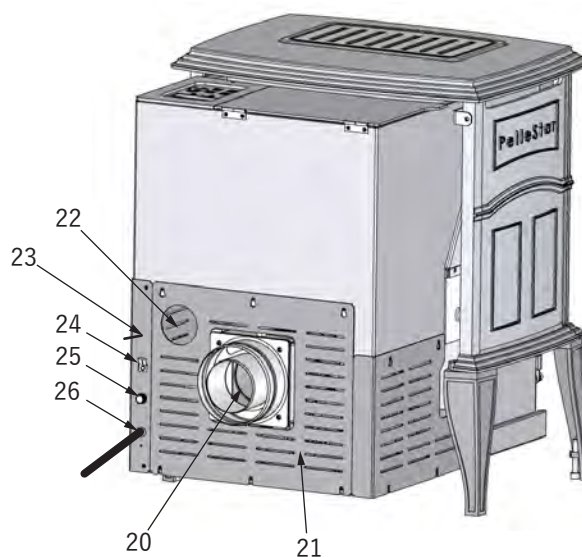
PelleStar200



1. 燃料タンク+蓋
2. コントロールパネル
3. ホットプレート
4. 天板（鋳物）
5. フロントドア（鋳物・観音開き）
※左ドア非表示
6. フロントドアハンドル
7. 燃焼室
8. 燃焼ポット
（背部に着火ヒーター）
9. 灰受皿
10. フロントリップ
11. 脚（鋳物×4か所）
12. サイドパネル（鋳物・左右）
13. 燃料タンクサイドパネル
（メンテナンス用・左右）



14. 温風送風口
15. バッフルプレート
16. ペレットシューター
17. 耐火レンガ
（バーミキュライト）
18. 灰受皿ロック
19. 遮熱版



20. 排気出口・排気温度センサー
21. 背部点検パネル
22. 給気ホース取出し口
（給気別配管の場合）
23. 室温センサー
24. 主電源スイッチ
25. ヒューズ（8A）
26. 電源ケーブル（AC100V）
アース線付

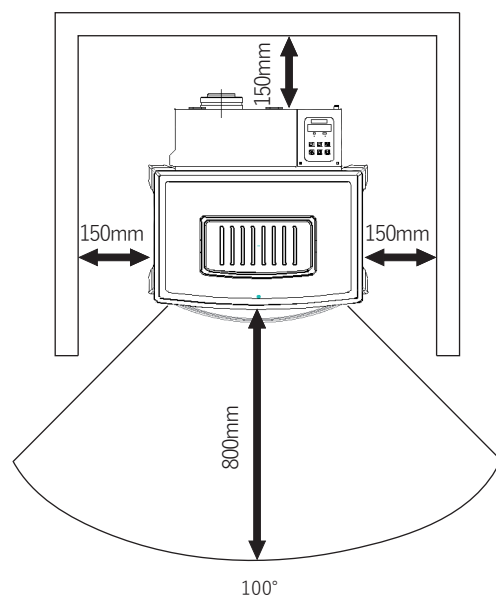
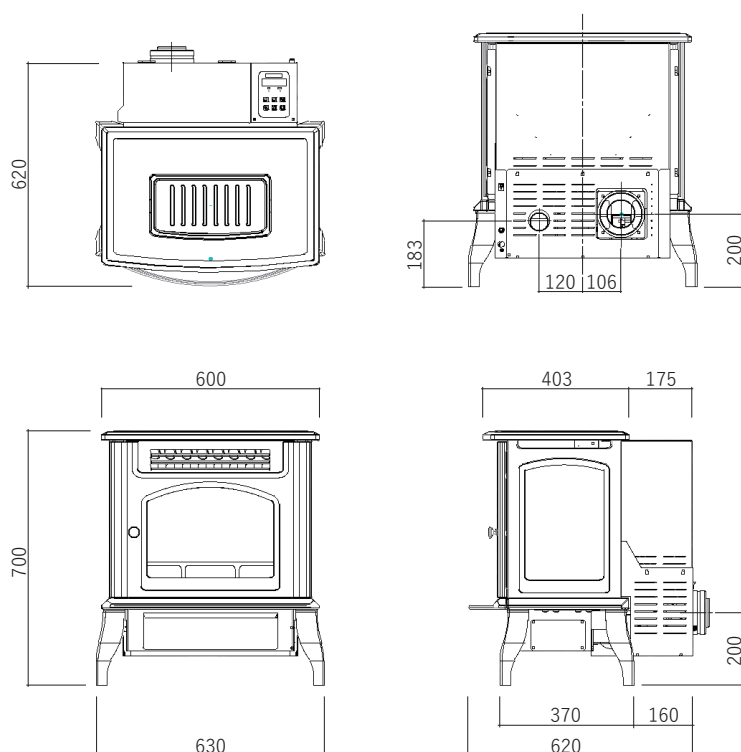
5. 仕 様

製品型番		PelleStar100 (HPS-100-S-A)	PelleStar-200 (HPS-200-S-A)	PelleStar40 (HPS-40-S-A)
区分		ペレットストーブ		
種類	燃焼方式	直接送風燃焼式		
	排気方式	強制排気型		
	用途別方式	強制対流型		
点火方式		電気点火 温風点火式		
使用燃料		木質ペレット (ISO ENplus A1 クラス推奨)		
燃料タンク容量		14kg	9kg	15kg
暖房出力	最大	8.9kW/h	8.5kW/h	6.6kW/h
	最小	3.3kW/h	3.2kW/h	3.0kW/h
燃料消費量	最大	2.3kg/h	2.1kg/h	1.6kg/h
	最小	0.8kg/h	0.7kg/h	0.7kg/h
熱効率		80%以上	80%以上	80%以上
外形寸法	高さ	700mm	645mm	810mm
	幅	630mm	525mm	456mm
	奥行き	532mm	570mm	440mm
重量		120kg	115kg	80kg
電源		AC100V(最大電流 4.1A) 50Hz/60Hz		
離隔距離	背面	150mm(推奨)		
	側面	150mm(推奨)		
	前面	800mm(最低)		
定格消費電力	点火時	360W (点火ヒーター 300W、排気ファン 40W、オーガモーター 20W)		
	燃焼時	105W		
安全装置		点火安全装置、感震スイッチ、燃焼制御装置、過熱防止装置 排気監視装置、電源ヒューズ (8A、管ヒューズ 6.4x30mm)		
付属品		スクレーパー、清掃用ハケ		

PelleStar 100

【本体寸法図】

【参考離隔距離】

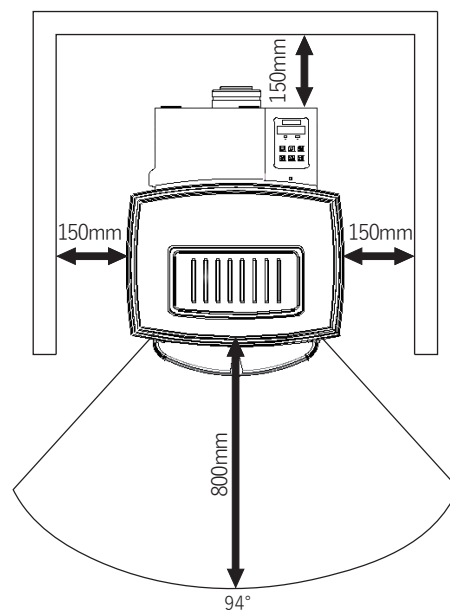
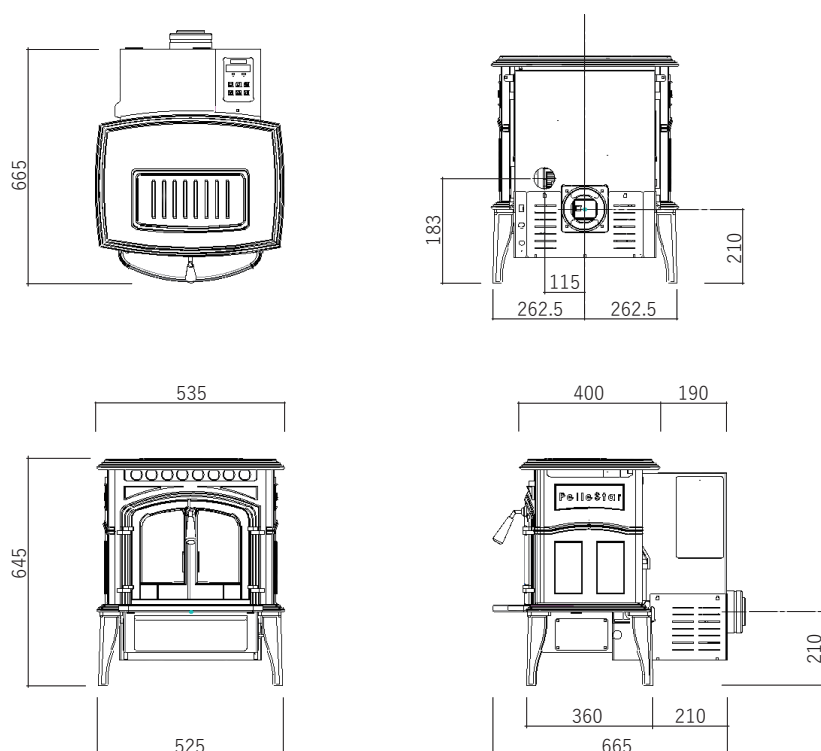


※上記寸法は清掃やメンテナンス性を考慮した推奨離隔距離です。

PelleStar200

【本体寸法図】

【参考離隔距離】

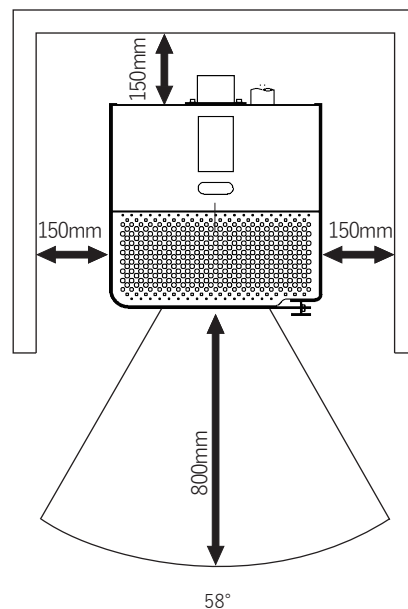
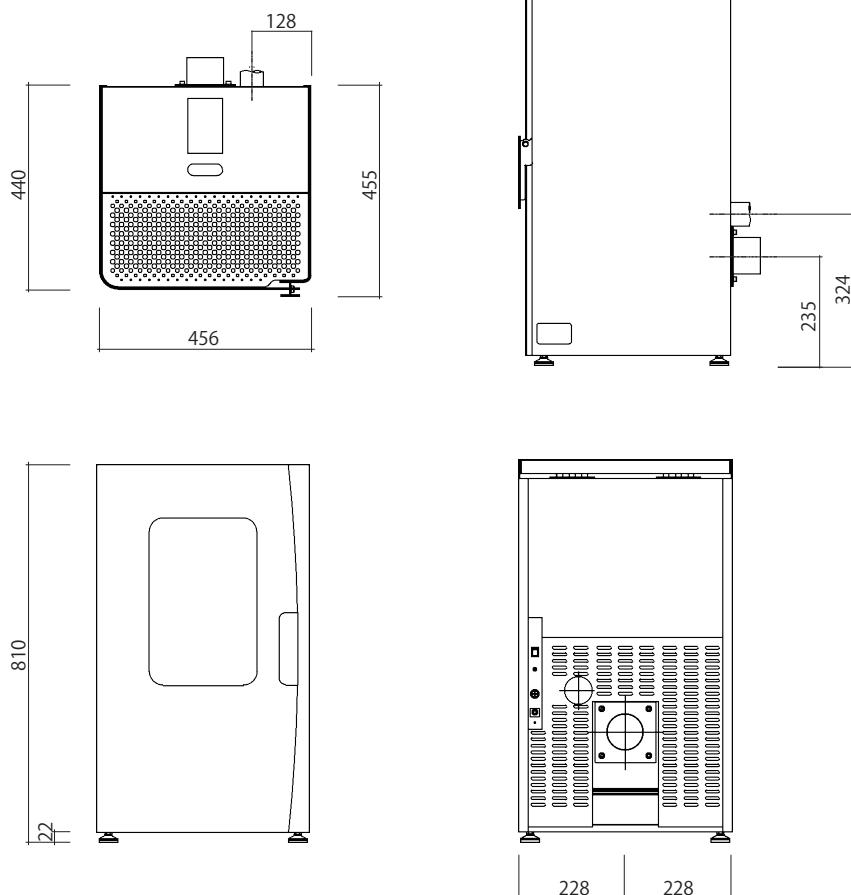


※上記寸法は清掃やメンテナンス性を考慮した推奨離隔距離です。

PelleStar40

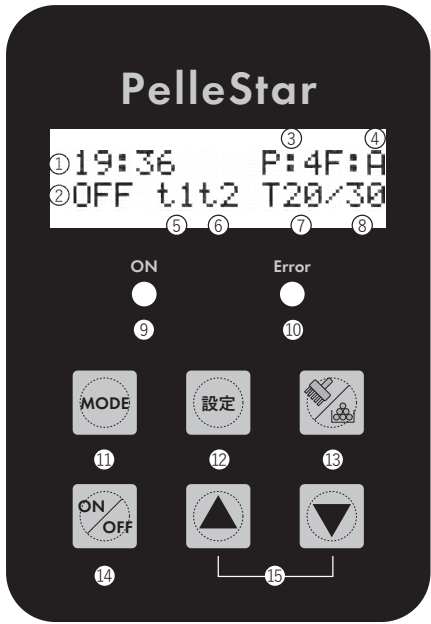
【本体寸法図】

【参考離隔距離】



※上記寸法は清掃やメンテナンス性を考慮した推奨離隔距離です。

6. コントロールパネル



[コントロールパネル 各部名称]

- ①現在時刻

②運転ステータス
運転状態を表示します。

③火力設定
(Power 1 ～ Power 5)

④室内ファン設定
(Fan 1 ～ Fan 5、AUTO)

⑤おはようタイマー ON 表示

⑥おやすみタイマー ON 表示

⑦現在室温

⑧設定室温
- ⑨運転ランプ

⑩エラーランプ

⑪モードボタン

⑫設定ボタン

⑬清掃 / 燃料充填ボタン

⑭運転開始 / 停止ボタン

⑮UP/DOWN ボタン

6-1. 着火 / 消火



ディスプレイ表示	機能・操作方法
PelleStar100 6 Ver 100.60.01 19:36 P:4F:A OFF T20/30	[電源投入→ホーム画面] 本体背面のメインスイッチを ON にする。 ディスプレイに機種名とプログラムバージョン情報が 5 秒間表示した後ホーム画面に切替ります。  I : ON, O : OFF
19:38 P:4 F:A ON T20/30 Pシキントキ 19:39 P:4 F:A ON T20/30 チャッカタイキ 19:39 P:4 F:A ON T20/30 チャッカカクニン 19:40 P:4 F:A ON T20/30	[着火]  ボタンを押すと以下の着火動作を開始し、5 分前後で着火します。 1. 燃料投入 運転ステータスに「ON」と「P(ペレット)準備」が交互に表示され、 燃焼ポットに適量のペレットを投入します。 > 運転ランプが 3 秒に 1 回点滅します。 2. 着火待機 燃焼ポットにペレットが溜まると、運転ステータスには「ON」と 「着火待機」が交互に表示され、着火ヒーターが発熱しペレットを 加熱して発火させます。 > 着火待機中は運転ランプが 3 秒に 2 回点滅します。 3. 着火確認 ペレットが発火した後排気温度の上昇を監視し着火状態の確認を 行います。 > 着火確認中は運転ランプが 3 秒に 3 回点滅します。 4. 巡回運転 着火し排気温度が規定値に達すると運転ステータスが「ON」の表示 に変わり巡回運転に移行します。 > 運転ランプは点灯に変わります。

ディスプレイ表示	機能・操作方法
19:37 P:4 F:A OFF T20/30 ショウカチュウ ↓ 19:37 P:4 F:A OFF T20/30 ショウカクニン ↓ 19:36 P:4 F:A OFF T20/30	[消火]  ボタンを押すと運転ステータスに「OFF」と「消火中」が交互に表示され消火動作に入ります。 ・燃料の供給が止まり排気ファンが高速で動作します。 ・排気温度が規定値にさがると運転ステータスが「OFF」の表示に変わり運転停止状態になります。 ・消火動作はおよそ 40 分程度かかり、その間再着火はできません。 ・消火動作中に誤って電源を OFF にした場合、排気温度が規定値より高ければ電源を ON にした際に消火動作を継続します。 消火フェーズ 1 (消 火 中) : 運転ランプが 3 秒に 1 回点滅します。 消火フェーズ 2 (消火確認) : 運転ランプが 3 秒に 2 回点滅します。 消火フェーズが終了すると運転ランプが消灯し OFF になります。

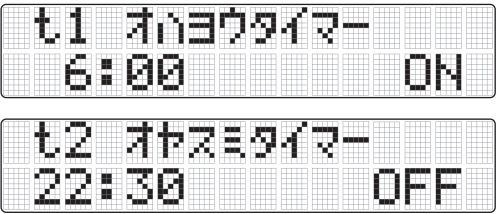
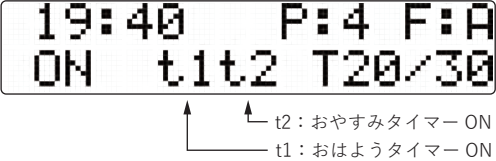
6-2. 火力設定、室内ファン設定、室温設定

設定

ディスプレイ表示	機能・操作方法
19:36 P:4 F:A OFF T20/30	[火力設定] ※初期設定値：Auto ホーム画面で  ボタンを押すと火力を変更する事ができます。 変更値は即座に適用されます。 設定範囲：Power1~Power5, Auto Auto は設定室温にあわせて自動的に火力を調整します。 ※常時設定を変更する事ができます。 ※低火力 (Power1, 2) で燃やし続けるとガラスが黒く煤ける事があります。
19:36 P:4 F:A OFF T20/30	[室温ファン設定] ※初期設定値：Auto  ボタンを押すと室内ファンの設定値が点滅に変わります。  ボタンを押すと室内ファンの風量を変更する事ができます。 再度  ボタンを押すと変更値が確定し、点滅は室温設定に移動します。 設定範囲：Fan1~Fan5, Auto Auto は設定室温に併せて自動的に風量を調整します。 ※無操作が 10 秒間続くと表示値が確定されホーム画面に戻ります。 ※常時設定を変更する事ができます。
19:36 P:4 F:A OFF T20/30	[室温の設定] ※初期設定値：23℃  ボタンを 2 回押すと室温の設定値が点滅に変わります。  ボタンを押すと設定室温を変更する事ができます。 再度  ボタンを押すと変更値が確定し、点滅は室温設定に移動します。 設定範囲：10℃~50℃ ※無操作が 10 秒間続くと表示値が確定されホーム画面に戻ります。 ※常時設定を変更する事ができます。 ※設定室温が検知室温より低い場合着火しません。 ※エコモードが ON になっていると検知室温がエコモード設定室温に達すると消火動作に入ります。 (P13「6-4. エコモード設定」、P16「7-8. エコモード運転」参照) ※設置条件 (お部屋の広さ等) により室温が設定室温に達しない事があります。

6-3. モード：タイマー設定



ディスプレイ表示	機能・操作方法
タイマー設定画面  ホーム画面：タイマー設定マーク  t2：おやすみタイマー ON t1：おはようタイマー ON	〔おはようタイマー〕 設定時刻に着火します。 ボタンを押すと「おはようタイマー」設定画面に切替ります。 ボタンを押すと「時」が点滅し ボタンでご希望の時刻を設定します。 再び ボタンを押すと「分」が点滅し ボタンで希望の時刻を設定します。 更に ボタンを押すと「OFF」が点滅しますので ボタンで「ON」に切替え ボタンを押すとセット完了です。 〔おやすみタイマー〕 設定時刻に消火します。 設定方法はおはようタイマーと同じです。 ※常時設定する事ができます。 ※設定画面で OFF に切替えるとタイマーは無効になります。

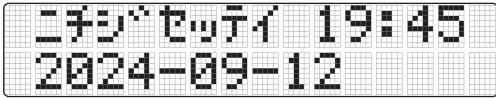
6-4. モード：ECO モード設定



ディスプレイ表示	機能・操作方法
	〔ECO モード〕 ECO モードを ON にすると、設定室温との温度差で自動的に消火・着火を行いますので燃料を節約する ECO 運転をする事ができます。 ECO モード機能の ON/OFF、消火させる温度差、再着火させる温度差を設定する事ができます。 ※P16「7-8. エコモード運転」項目をご参照ください。

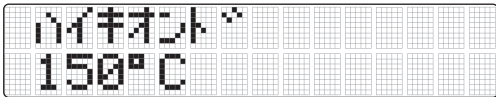
6-5. モード：日時設定



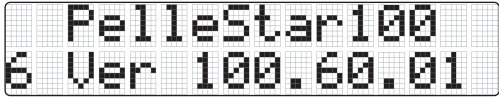
ディスプレイ表示	機能・操作方法
	〔日時設定〕 ボタンを 3 回押すと日時設定画面に変わります。 ボタンを押すと「時」が点滅に変わるので ボタンで修正します。 ボタンを押すと確定し「分」に点滅が移動します。 修正の後 を押すと点滅が「年」→「月」→「日」と移動します。 修正が終わったら ボタンを数回押してホーム画面に戻るか、そのまま放置すると自動的にホーム画面に戻ります。

6-6. モード：情報 【排気温度】

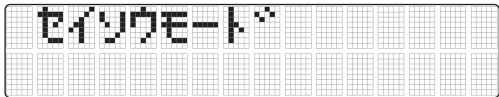
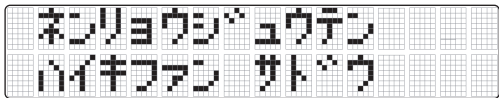


ディスプレイ表示	機能・操作方法
	〔排気温度〕 ボタンを 4 回押すと排気温度を確認する事ができます。 ※情報確認のみ。

6-7. モード：情報 [機種名・プログラムバージョン]

ディスプレイ表示	機能・操作方法
	[機種名・プログラムバージョン情報]  ボタンを5回押すと排気温度を確認することができます。 ※情報確認のみ。

6-8. 清掃モード・燃料充填モード

ディスプレイ表示	機能・操作方法
 	[清掃モード]  ボタンを押すと排気ファンが高速回転します。 炉内清掃時に室内に煤が舞う事を抑える事ができます。 時間制限はなく  ボタンを押すと停止します。 ※運転停止中のみ使用可能です。 [燃料充填モード]  ボタンを長押しするとオーガモーターが動作し、同時に排気ファンも高速回転します。 オフシーズンに燃料を抜いた場合や、燃料切れにより消火した場合等オーガスクリューに燃料充填の必要がある時に使用します。 時間制限はなく  ボタンを押すと停止します。 ※運転停止中のみ使用可能です。

7. 運転の仕方

7-1. ペレットの投入



[ペレット投入]

ペレットタンクにタンクの蓋がしっかり閉まる程度までペレットを投入します。
投入時にタンクの縁や蓋のパッキン部分に細かいペレットの破片やおが粉が付着すると蓋の密閉性が損なわれ燃焼状態に影響が出ることがありますので除去してください。

注意

ペレットの形状の特性上、投入したペレットが少なくなるとうまく供給できなくなります。早めの補充を行ってください。

7-2. ペレットの充填



長押し



停止

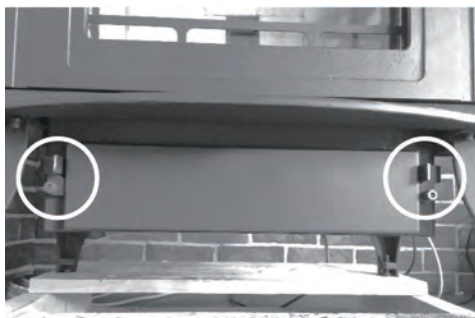
[ペレットの充填]

タンクから燃焼ポットに燃料を送るオーガスクリューにペレットが充填されていないと着火する事ができません。
初めてお使いになる時や、燃料切れを起こした時はオーガスクリューにペレットを充填してから着火させます。
「清掃 / 燃料充填」ボタンを長押しすると、排気ファンとオーガモーターが作動します。
燃焼ポットに十分ペレットが溜まったら ON/OFF ボタンを押して停止させます。
燃焼ポットに溜まったペレットは取り除いた上で着火を行います。

7-3. 着火前の確認



燃焼ポットの確認



灰受ボックスの確認 (ロックレバーの位置)

[周囲の確認]

ペレスターの周辺に可燃物（カーテンや缶スプレー等）が無い事を確認してください。

[燃焼ポットの確認]

燃焼ポットの中を確認し、灰の堆積等により燃焼ポットの穴が塞がっていない事を確認してください。

穴が塞がっていると燃焼用空気が不足し不完全燃焼を引起します。

[燃料タンクの確認]

タンクにペレットが十分に入っているか確認してください。

タンクの蓋のパッキンに異物が付着していないか？蓋がしっかり閉まっているか確認してください。

蓋に隙間があると燃焼状態に影響を与えます。

[灰受ボックスの確認]

灰受ボックスの両側にあるロックレバーが正しくロック位置にある事を確認してください。

灰受ボックスが正しい位置にないと、着火しなかったり不完全燃焼を引起します。

7-4. ダンパーの位置確認



ダンパー位置 (標準：中間)



ダンパー位置 (最小)

ダンパー位置 (最大)

[ダンパー位置]

PelleStar100/200 は排気風量を自動的に調整して最適な燃焼状態を保ちます。

排気ダンパーも装備されていますが、通常は中間位置にセットします。

メモ：燃料が変わる等により燃焼状態が悪くなった場合、ダンパー位置を調整（引っ張る）事で燃焼状態を補助的に改善できます。

7-5. 着火



2秒長押し

[着火]

ON/OFF ボタンを2秒間長押しするとディスプレイの運転ステータスに「ON」と「P ジュンビ」が交互に表示され運転を開始します。

自動的にペレットを燃焼ポットに投入し5分前後で着火します。

着火する直前に排気筒から白い煙が出ますが、着火すると収まります。

外気温が低い日は着火した後も白い煙のように水蒸気が数分間漂う事がありますが、これは結露によるもので排気筒が温まると消えます。

火力・送風量・設定室温はいつでも変更可能です。お好みに併せて調整してください。

※「P11 火力設定、室内ファン設定、室温設定」参照。

注1) 室内ファンは暖かい風を送る事ができる様になるまで動きません。

注2) 低火力（P1, P2）で長時間燃焼させるとガラスが黒く煤ける事があります。

7-6. 消火



2秒長押し

[消火]

ON/OFF ボタンを2秒間長押しするとディスプレイの運転ステータスに「OFF」と「ショウカチュウ」が交互に表示され消火運転を開始します。

ペレットの投入が停止され、排気ファンが高回転で回り燃焼ポットに残っているペレットを燃やし尽くします。

数分で燃焼ポットの中のペレットは燃え尽きますが、排気温度が規定値に下がるまで排気ファンが動作し続けます。

消火動作が終了すると、運転ステータスの表示が「OFF」に変わり停止状態になります。

排気温度が規定値に下がるまで消火動作を行う為、運転停止まで30~40分かかります。

消火動作が終了する迄再着火させることはできません。

注1) 安全に消火させる為に、決して電源をOFFにしないでください。故障の原因になります。

注2) 間違って電源スイッチをOFFにしてしまった時は、再度ONにすると消火運転を継続します。

7-7. オートクリーニング機能



定期的に燃料の供給を止め、排気ファンを高回転させて燃焼ポットの灰を飛ばすオートクリーニング機能が搭載されています。

オートクリーニング実行中はディスプレイにONとオートクリーニングが交互に表示されます。

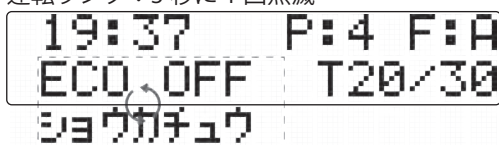
> 初期設定は40分に1回。所要時間は30秒。

7-8. エコモード運転

室温が設定値に到達すると自動的に消火し燃料を節約するエコモード機能が搭載されています。(工場出荷時:OFF) エコモードにより消火した場合、運転ランプは点灯を継続しディスプレイには「スタンバイ/ECO OFF」の表示が交互に表示されます。

[ECOモード消火]

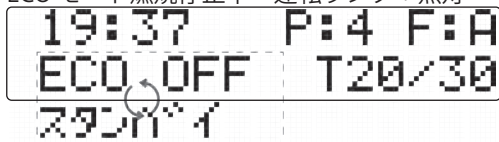
運転ランプ: 3秒に1回点滅



運転ランプ: 3秒に2回点滅

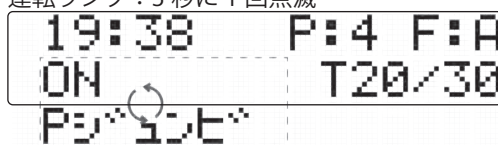


ECOモード燃焼停止中 運転ランプ: 点灯

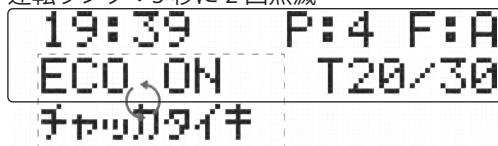


[ECOモード着火]

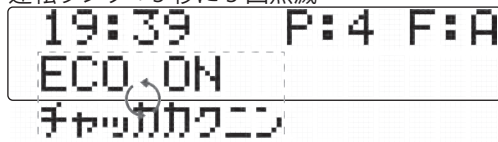
運転ランプ: 3秒に1回点滅



運転ランプ: 3秒に2回点滅



運転ランプ: 3秒に3回点滅



再着火燃焼中 運転ランプ: 点灯



※ECOモードは温度差で自動着火しますので、消火をご希望の際はECOモードによる消火中で無い事をご確認ください。

8. 警告表示・エラー表示・故障表示

[警 告 表 示] ブザーの断続音と画面の点滅表示でお知らせします。症状が改善すると自動的に解除されます。
＞ON/OFF ボタンを長押しするとブザー音を解除し画面の点滅表示のみにできます。
再度 ON/OFF ボタンを長押しすると消火モードに移行し警告表示も解除されます。

[エラー表示] ブザーの連続音と画面の点滅表示でお知らせします。エラーが表示されると消火に移行します。
＞ON/OFF ボタンを長押しするとブザーが停止しエラー表示を解除できます。
※対処方法をお試し頂き、頻発する場合は販売店にご相談ください。

	コード番号・名称	コード内容	対処方法
警告表示 (ブザーの断続音)	A01 負圧エラー警告	負圧センサーが異常を検知すると負圧エラー警告を発出します。	外風の影響により排気が妨げられると警告が出る事があります。 30 秒間改善されない場合、E01 負圧エラーに移行し消火します。
	A02 排気温度高温エラー警告	排気温度が規定値を超えると表示されます。警告表示が出ている間、排気温度を下げる為の運転をします。 規定値まで排気温度が下がれば警告が消灯し通常運転に戻ります。	本体内部の熱籠りにより警告が表示される事があります。 改善され無い場合、E02 排気温度高温エラーに移行し消火します。
	A03 低温エラー警告	運転中に燃料切れ等により失火すると排気温度が低下し警告が表示されます。	燃料タンクを確認し十分に燃料が入っているか確認してください。
	A04 タンク温度エラー警告	燃料タンク温度が規定値を超えると表示され、規定値まで下がると警告が消え通常運転にもどります。	本体内部の熱籠り等で警告がでることがあります。 周辺の安全状況を確認してください。
エラー表示 (ブザーの連続音)	E01 負圧エラー	A01 負圧エラー警告が表示された後、30 秒間症状が改善されない場合、E01 負圧エラーが表示され消火に移行します。	外風が強い場合負圧エラーが発生することがあります。 エラーを解除し、本体が冷めたあとと再着火させ負圧エラーが頻発する場合は販売店に連絡し点検を受けてください。
	E02 排気温度高温エラー	A02 排気温度高温エラー警告が表示された後、更に排気温度が上昇し既定の排気温度を超えると E02 排気温度高温エラーが表示され消火動作に移行します。	長時間運転や本体に直射日光が当たる事で本体内部に熱籠りが生じ排気温度が高温になる事があります。 エラーを解除し、本体が冷めたあとと再着火させ排気温度高温エラーが頻発する場合は販売店に連絡し点検を受けてください。
	E03 低温エラー	A03 低温エラー警告が表示された後、更に排気温度が下がり規定値を下回ると E03 低温エラーが表示され消火動作に移行します。	燃料切れを起こすと排気温度が下がり続け低温エラーが表示されます。 燃料を補充し燃料充填作業を行ったうえで再着火を試してください。 タンクに燃料が十分入っている時に低温エラーが発生する場合は燃料詰まりが疑われます。 上記対処の後、低温エラーが頻発する場合は販売店に連絡し点検を受けてください。
	E04 タンク温度高温エラー	燃料タンクに取付けられた温度センサーが異常を検知すると E04 タンク温度高温エラーを発出し消火動作に移行します。	長時間運転や本体に直射日光が当たる事で本体内部に熱籠りが生じ燃料タンク周辺が高温になる事があります。 消火動作が終了した後、周辺に空気の還流を妨げるものが無い事を確認の上再着火してください。 上記対処の後、タンク温度高温エラーが頻発する場合は販売店に連絡し点検を受けてください。
	E05 感震エラー	大きな揺れ (震度 5 強程度) を感知すると E05 感震エラーを発出し消火動作に移行します。	消火動作が完了したあと、排気筒の外れや本体のずれを確認してください。 再着火させる場合は、煙の漏れやニオイにご注意いただき、異変を感じた場合は即座に使用を中止して販売店にご連絡ください。
	E06 着火タイムアウトエラー	既定の制限時間内に目標の排気温度に達し無い場合、着火に失敗したと判断し E6 着火タイムアウトエラーを発出し、消火動作に移行します。	本体が冷え切った状態になると、排気温度の上昇に時間が掛かる為、E06 着火タイムアウトエラーが表示されることがあります。 再着火を試し、同一エラーが頻発する場合は販売店に連絡し点検を受けてください。

[故障表示] ブザーの連続音と画面の点滅表示でお知らせします。故障が表示されると消火に移行します。
[解除方法] ON/OFF ボタンを長押しすると故障表示を解除できます。
※対処方法をお試し頂き、頻発する場合は販売店にご相談ください。

	コード番号・名称	コード内容	対処方法
故障表示 (ブザーの連続音)	B01 排気温度センサー故障	排気温度センサーが故障した場合に表示されます。 燃焼中に表示された場合は消火動作に移行します。	運転停止後再着火させ、頻繁に再発する場合センサー自体の故障や断線等が考えられます。 販売店にご相談してください。
	B02 室温センサー故障	室温センサーが故障した場合表示されます。 燃焼中に表示された場合は消火動作に移行します。	運転停止後再着火させ、頻繁に再発する場合センサー自体の故障や断線等が考えられます。 販売店にご相談してください。
	B03 タンク温度センサー故障	タンク温度センサーが故障した場合表示されます。 燃焼中に表示された場合は消火動作に移行します。	運転停止後再着火させ、頻繁に再発する場合センサー自体の故障や断線等が考えられます。 販売店にご相談してください。

9. メンテナンスモード



ボタンと ▼ ボタンを 2 秒間同時押しするとメンテナンスモードに入ります。



ボタンで機能を選択します。



ボタンの長押しでメンテナンスモードが終了します。

ディスプレイ表示	機能・操作方法
	[排気ファン] 設定 ボタンを押すと「OFF」が点滅します。 ▲ ▼ ボタンで「ON」に切替え 設定 ボタンを押すと排気ファンの動作テストを行う事ができます。 同じ操作で「OFF」に切替え 設定 ボタンを押すと動作を停止します。
	[室内ファン] MODE ボタンを押すと室内ファンに切替ります。 設定 ボタンを押すと「OFF」が点滅します。 ▲ ▼ ボタンで「ON」に切替え 設定 ボタンを押すと室内ファンの動作テストを行う事ができます。 同じ操作で「OFF」に切替え 設定 ボタンを押すと動作を停止します。
	[オーガモーター] MODE ボタンを押すとオーガモーターに切替ります。 設定 ボタンを押すと「OFF」が点滅します。 ▲ ▼ ボタンで「ON」に切替え 設定 ボタンを押すとオーガモーターの動作テストを行う事ができます。 同じ操作で「OFF」に切替え 設定 ボタンを押すと動作を停止します。
	[着火ヒーター] MODE ボタンを押すと着火ヒーターに切替ります。 設定 ボタンを押すと「OFF」が点滅します。 ▲ ▼ ボタンで「ON」に切替え 設定 ボタンを押すと着火ヒーターの動作テストを行う事ができます。 同じ操作で「OFF」に切替え 設定 ボタンを押すと動作を停止します。 MODE ボタンを押すと排気ファンに戻り、ON/OFF ボタンを押すとメンテナンスモードが終了しホーム画面に戻ります。

10. お手入れ

10-1. お手入れ用具



10-2. 使用後のお手入れ（着火ごと）

使用後のお手入れは、本体が十分に冷めた事を確認したうえで行ってください。
燃焼中に本体は高温になりますので、火傷をしたりガラス破損の原因になりますのでご注意ください。

10-2-1. 燃焼ポットの清掃

- ・ 燃焼後にペレットの灰や煤が燃焼ポットに残ります。
- ・ 付属のハケやペレットストーブ専用掃除機を使用して清掃してください。
- ・ 燃焼ポットにあげられているスリットや穴が詰まると、燃焼用空気が不足して不完全燃焼の原因となりますので竹串等を利用して取り除いてください。



燃焼ポット

10-2-2. 着火ヒーター

- ・ 燃焼ポットが収まっているボックスは燃焼空気を給気するスペースになっており、この中にも灰が堆積します。
- ・ 奥側に着火ヒーターが収まっている筒がありますので、この筒に付着した灰も除去してください。

※ペレットストーブ専用掃除機があると簡単に清掃出来ます。



給気ボックス



着火ヒーター

10-2-3. 燃焼室ドアガラス

- ・ 燃焼により燃焼室ドアガラスにも灰が付着し白っぽく曇ってきます。
- ・ 濡らした雑巾やペーパーで拭いた後、空拭きをしてください。
- ・ タール状の汚れが付着し水拭きしても落ちない時は、灰を少しつけて水拭きすると綺麗になります。

※不完全燃焼を起こすと燃焼室ドアガラスが黒く煤けます。
うっすら黒くなる分には問題ありませんが、炉内が見えないほど黒くなる場合は給排気経路の点検を行ってください。
粗悪なペレットを燃焼させた場合も同様な状況を引き起します。



10-3. 定期的なお手入れ（週一回程度）

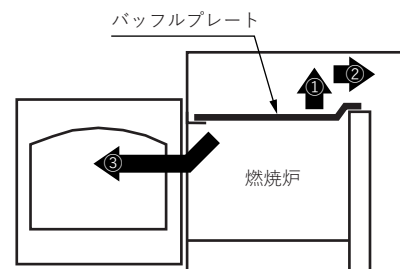
定期的なお手入れは、本体が十分に冷めた事を確認したうえで行ってください。
燃焼中に本体は高温になりますので、火傷をしたりガラス破損の原因になりますのでご注意ください。

10-3-1. バッフルプレートの清掃

- ・ 燃焼室上部のバッフルプレートを取外し、バッフルプレートの上に堆積した灰を清掃します。

【バッフルプレートの取外し方】（右図参照）

- ① バッフルプレートの後部を少し持ち上げます。
- ② そのまま後方にずらします。
- ③ 手前側がリブより外れたら、ゆっくり手前に引き出します。



1. 後方を少し上に持ち上げます。
2. 持ち上げたまま奥側に少しスライドさせます。

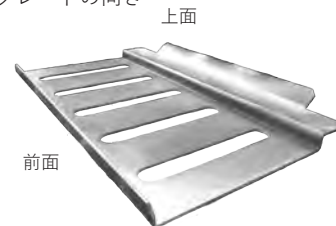
3. バッフルプレートの手前側がリブより外れたら、ゆっくり手前に引き出します。
※ バッフルプレートの上に堆積した灰が落ちますのでご注意ください。

※ 取外し時にバッフルプレートの上に堆積した灰が落ちますので、新聞紙等で床を保護してから作業してください。

※ バッフルプレートの幅は、左右の耐火レンガの内寸法で作られています。

殆ど余裕がありませんので、引き出す際は真っ直ぐ引き出してください。

バッフルプレートの向き



10-3-2. 灰受皿の清掃

- ・ 灰受皿には燃焼により発生した灰が溜まります。
- ・ 灰受皿の左右にあるロックを解除して手前に引き出します。
- ・ 灰受皿を抜き取り、ペレットストーブ専用掃除機で溜まった灰を清掃してください。
- ・ 灰受皿の収納スペースにも灰が溜まりますので、刷毛で掃きながらペレットストーブ専用掃除機で吸引してください。
- ・ 灰受皿を元の位置に納め、左右のロックを掛けてください。
（ロックが掛かる位置が正しい収まり位置です）

※ 灰受皿を引き出す際、灰が落ちますので新聞紙等で床を保護してから作業してください。



灰受皿の清掃



灰受皿収納スペースの清掃



ロック



アンロック

10-3-3. 灰の処分

- ・ 一般的に灰は普通ごみとして出す事ができます。（自治体により扱いが異なる事があります）
- ・ 灰の中に火種が残っている事がありますのでご注意ください。
- ・ 廃棄する際に安全の為、灰は不燃性の器に一晩以上保管したうえで処分してください。

10-4. オフシーズンのお手入れ

オフシーズンのお手入れは、一部工具を使用したり破損させやすい箇所があります。
排気筒の清掃を含め、お買い求めの販売店の有償のオフシーズンメンテナンスを受ける事をお勧めします。

10-4-1. 燃料タンクを空にする

ペレットは湿気を含むと粉になってしまい、オーガスクリーパーが詰まる事がありますので、シーズンの終わりにはペレットを燃やしきって燃料タンクを空にしてください。

- ①不意なオーガの動作による怪我を防止する為に、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。
- ②不要なコップ等の容器を使用してペレットを取出してください。
- ③タンクの底におが粉が溜まっていますので、ペレットストーブ専用掃除機で吸引してください。

※お手入れ時には床の汚れ防止の為に新聞紙等を敷いてください。



ペレットの抜き取り



タンクの底に堆積したおが粉



おが粉除去後

10-4-2. 燃焼炉内の清掃

①耐火レンガ（バーミキュライト）の取外し

- ・バップルプレートを取り外します。
- ・背面→側面の順に取り外します。
- ・背面の耐火レンガは背面のフックで引っ掛けてあるので、ペレット投入口の穴を利用して上に持ち上げ手前に倒しながら引き抜きます。
- ・側面の耐火レンガは背面の耐火レンガで固定されているので、背面の耐火レンガを外した後、内側に倒しながら手前に抜き出します。
- ・耐火レンガや耐火レンガの背面に堆積した灰を刷毛で掃きながらペレットストーブ専用の掃除機で清掃してください。



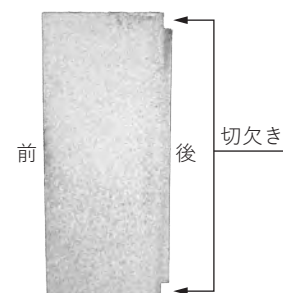
耐火レンガ（背面）フック



耐火レンガ（背面）の抜き取り



耐火レンガ（側面）の抜き取り



耐火レンガ（側面）の形状

※耐火レンガは消耗品です。強い衝撃を与えると割れる事がありますので、取り扱いに注意してください。
特に背面の耐火レンガはスチールフレームに取付けられており、取外し時に滑り落ちる事があります。

②熱交換パイプの清掃

- ・ バッフルプレートの上側に温風用の熱交換パイプがあります。
- ・ 熱交換パイプの上にも灰が堆積しますので、ペレットストーブ専用掃除機で吸引しながら刷毛で取り除いてください。



熱交換パイプの清掃

10-4-3. 炉内部品品の再取付

- ・ 清掃が完了したら逆の手順で取り外した部品を組み込んでください。

10-4-4. 灰受皿・収納スペースの清掃

- ・ 灰受皿に溜まった灰を清掃します。
 - ・ 灰受皿の収納スペースに堆積した灰を清掃します。
- ※灰受皿の収納スペースは排気経路を兼ねています。

奥に排気経路の四角い穴がありますので、懐中電灯で確認しながら灰の堆積や詰まりが無い事を確認してください。



灰受皿の清掃



灰受皿収納スペースの清掃

10-4-5. 電源プラグとコンセントの点検清掃

- ・ 電源プラグやコンセントに付着した埃を清掃してください。
- ※電源プラグやコンセントに埃を付着したままご使用になると湿気によるトラッキング現象を起こし火災の原因となります。
- ※誤作動やサージの影響による故障を防止する為、オフシーズンは電源プラグをコンセントから抜いてください。
(落雷によるサージ等自然現象に起因する故障は保証期間内でも保証対象外です。)

11. 故障かな？と思ったら

- ・不具合や異常が発生したら、以下の項目を確認してください。
- ・対処方法を試して頂いても、頻繁に同じ症状が発生する時は使用を中止しお買い求めの販売店にご連絡ください。

現象	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに確実に差してください。
	主電源スイッチが OFF(0) になっている。	主電源スイッチを ON(I) にしてください。
ペレットが落ちてこない	燃料タンクのペレットがなくなった。	ペレットを補充してください。 13 ページの「7-2 ペレットの充填」の手順に従って操作したうえで再着火してください。
	オーガスクリーナーにおが粉や異物が詰まった。	タンクからペレットを抜き清掃してください。 症状が改善しない場合、お買い求めの販売店に点検を依頼してください。
着火しない	ペレットが湿気ている。	ペレットを入れ替えてください。
	燃焼ポットのスリットや穴に灰が詰まっている。	燃焼ポットを清掃し、詰まりがない事を確認した上で再着火してください。
	燃焼ポットが正しく収まっていない。	燃焼ポットを正しく装着し再着火してください。
	着火ヒーターが切れた	燃焼ポットにペレットが正常に溜まっているにもかかわらず着火しない場合、着火ヒーター切れが考えられます。 お買い求めの販売店にご連絡ください。
	灰受皿が完全に閉まっていない	灰受皿の左右のロックがしっかり掛かっている事を確認の上再着火してください。
着火中に大量に煙が出た	燃焼ポットにペレットが残っていた	一旦消火させ、運転が停止した事を確認の上再着火してください。
	灰受皿が完全に閉まっていない	灰受皿の左右のロックがしっかり掛かっている事を確認の上再着火してください。
燃焼中に火が消えた	燃料タンクのペレットがなくなった。	ペレットを補充してください。 13 ページの「7-2 ペレットの充填」の手順に従って操作したうえで再着火してください。
	推奨品以外のペレットを使用した	推奨品以外のペレットを使用する場合、予めお買い求めの販売店にご相談してください。

12. アフターサービス

12-1. 製品の保証について

- ・ペレスターの保証期間は買い求めの日から 1 年間です。
- ・本取扱説明書の巻末に付属している保証書に買い求め日と販売店名が記入されている事をご確認ください。
未記入の場合、保証期間中の無償修理規定が適用されないことがあります。
- ・ご使用前に買い求めの販売店より取扱説明をお受けいただき、本取扱説明書をよくお読みください。
- ・間違った取り扱いにより発生した不具合は、保証期間中でも有償となります。
- ・消耗部品は保証期間中でも有償となります。
(主な消耗部品：耐火レンガ、燃焼ポット、燃焼室ドアガラス、各部ガスケット等)
- ・メーカーおよび販売店の推奨品以外のペレットをご使用になった事による不具合も保証対象外となります。

12-2. 補修用性能部品について

- ・補修用性能部品とは、ペレスターの機能を維持する為に必要な部品です。
- ・ペレスターの補修用性能部品は、製造終了後 7 年間保有します。

12-3. 修理の依頼について

- ・最初に 24 頁の「11. 故障かな? と思ったら」をご確認頂き対処方法をお試しく下さい。
- ・対処方法を試しても症状が引き続き発生する場合、ご使用を中止し買い求めの販売店にご連絡ください。
ご連絡の際は、保証書に記載されている

- ①機種
- ②製造番号
- ③ご購入日
- ④不具合の内容

どのような時に不具合が発生したか? 断続的に発生する場合そのタイミング。音の場合は音質等できるだけ具体的にお伝えください。

また、動画をご用意できる場合はご提供頂けますと更に迅速な修理対応ができます。

12-4. オフシーズンメンテナンス (有償)

- ・年 1 回オフシーズンになりましたら販売店によるオフシーズンメンテナンス (有償) をお受けください。
- ・木質燃料を燃焼させるペレットストーブは、本体内部や排気筒内に煤灰が堆積しますが日常のメンテナンスだけでは取り除けない箇所があります。本体のガスケットの状態や給排気経路の状態を含めた診断が出来ますので安心安全にお使い頂く為に販売店のオフシーズンメンテナンスを受ける事をお勧めします。
- ・秋口はメンテナンスの依頼が集中しますので早めのご依頼をお勧めします。

12-5. 転居する場合

- ・新居に移設をご希望の場合は、買い求めの販売店にご相談ください。
- ・設置場所に残す場合は、本取扱説明書も新しい入居者にお渡しください。

12-6. 廃棄する時

- ・買い求めの販売店にご相談のうえ、各自治体の規定に沿った処分をおこなってください。

保証書

本保証書は、下記無償修理規定により保証期間内に無償修理を行う事をお約束するものです。
保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間： ご購入日から 1 年間	販売店名・住所・電話番号：
ご購入日：	
機 種 名：	
製造番号：	
お客様名：	
ご住所（ご使用場所）	 製造・販売元：豊実精工株式会社 上之保工場 〒501-3601 岐阜県関市上之保 22394-2 TEL 0575-47-0030 FAX 0575-47-2280
お 電 話：	

無償修理規定

- 取扱説明書の記載事項や、販売店の取扱説明に従った正しい使用状態において故障が発生した場合、お買い求めの販売店または弊社指定店が無償で修理いたします。
- 取扱説明書に記入してある販売店に修理を依頼できない場合は、弊社までお問合せください。
- 保証期間内でも次の場合は有償となります。
 - 取扱説明書の記載事項や、販売店の取扱説明に従わない誤った使用をした場合や、不当な修理や改造により故障や損傷が発生した場合。
 - お買い求め後の弊社販売店以外による設置場所の移動や落下等による故障や損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、天変地異、異常電圧等の環境要因による故障や損傷。
 - 推奨以外のペレット使用による故障や損傷
 - 保証書の提示がない場合
 - 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の記入漏れがある場合。
 - 消耗部品の消耗に起因する故障・損傷の修理及び保守点検のメンテナンス費用。
- 本保証は日本国内においてのみ有効です。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。